

全久院報

松本市深志 3-7-50 電話 0263-36-3211

あけましておめでとうございます

祈願してついでにいただきました。それにしても災害の多い年でした。台風19号で東北信の30程の寺院も被災しました。千曲川の堤防決壊の様子がテレビにも映し出されましたが、その画面にお寺が映っていたのにお気づきでしたか。曹洞宗の寺院で1階部分はすべて浸水、庫裡の2階の畳も浮き上がってしまったそうです。未だに復興ができずにいます。下の写真は第二宗務所から第一宗務所の佐々木所長さんに寄付金をお渡ししているところです。曹洞宗青年会が協力し、泥の掻き出しも行っています。今年は災害のない平穏な年であることを祈ります。



するため次の方に譲る算段を始めております。長年勤めてきましたが、昨今の稽古事の人口減少に新たな対応をするためにも新しい力が必要になっているためです。表千家の会員数も30年前の半数になったといわれています。日本の伝統文化の折り返し地点になっています。激変する時代の先を見据えなくては行けないと痛感しております。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。下の写真は恒例の除夜の鐘です。昨年のもですが子供連れの皆様が一年の多幸を



副住職も宗務所書記の役を果たしております。本号の宗務所の欄で宗務所の仕事を説明しておりますが、その大半が書記の仕事です。長野の被災地区の泥の掻き出しなどにも出向くため多忙を極めておりますが、檀務にも頑張ってお務めしますので、よろしくお願いいたします。

住職の表千家における事務長の役職も定年制がある

坐禅会 ・ ・ 「 乾峰一画 (かんぼういちがく) 」 ・ ・

全久院の集い

約1200年前の中国禅宗のお話です。瀧山(いさん)大師という歴史に残る和尚様と、その弟子香巖(こうげん)和尚の禅の悟りをめぐる問答がありました。瀧山大師は「お前は大変勉強して多くの教えを理解しているが、お前のご先祖やご両親の生まれる前の教え、つまり理屈で考える前の教えは何か」と問うと、香巖和尚は言葉に詰まりました。すると瀧山は「その意味を話すのは容易だが、話してしまえば後に私を恨むだろう。理屈ばかり覚えてしまい、話した言葉に縛られ、本当の悟りができなくなる」と伝えました。香巖和尚は悟りの一番大切なところを話してもらえないなら、ここで修行しても無意味だと、瀧山大師の元を去りました。その後も厳しい修行を続けた香巖和尚はある時、座禅を組みながら、竹の音が響くのを聞き、悟りに至りました。すぐお袈裟を整え、瀧山大師の住まう寺の方に向かい、心からのお礼のお拝をし、「あの時、言葉で事細かに教えを説かれなくて良かった。他の人の言葉で、理屈で教えを受けていたら今の悟りはなかっただろう」と呟いた、とのことでした。

この物語は、私たち曹洞宗の座禅の教科書「従容録」61則「乾峰一画」に出てくる「直説(じきせつ)」と、「曲説(きょくせつ)」という教えです。直説は相手の潜在能力を見抜いて、事細かに語らず心に直接語り掛ける、曲説は微に入り細に入り、相手の手を取って詳細な説明を言葉で

行うことを言います。瀧山大師の教えは相手の能力や立場を見抜いて、心の繋がりの中で語り掛けることの大切さ、相手の心を思いやれる慈悲の心の大切さに、自分が気付けるかどうかを説いています。

令和がどのような時代になるのでしょうか？時代の経過により通信技術が飛躍的に進歩しています。ネットの世界が広がりその中で言葉があふれ、便利である反面生きずらい思いをしている人も増えています。私の目の前の小さな携帯電話という機械で世界中と繋がる時代です。機械やシステムは進歩していますが、それを使う人間の側の成長が求められている時代です。私が何をどう繋げてゆくのか問われる時代です。改めて自分を見つめなおしたいと思います

観音講 観音講は十月小旅行をしています。今年も奈川村の蕎麦を堪能しました。ここ数年恒例となり店の方にも顔を覚えてもらいました。とうじ蕎麦の松茸の量も幾分増えたような気がします。10月17日観音講・ご詠歌の会・歌の会・リラの会の皆さんとお迎えのバスに乗って奈川村に向かいました。今年は気候が温かかったので紅葉はまだ。でも、奈川村は自前の蕎麦粉や、とおじ蕎麦で有名です。今年はキノコの不作が伝えられていたので、松茸は？しかし、とおじ蕎麦にたくさんのマツタケが入っており感動しました。日ごろ付き合いのない会の合同の小旅行でしたが、蕎麦をほお張りながらワイワイと交流も進みました。「こんなに沢山のマツタケ、本当に初めて頂戴しました」と皆さん口々に話していました。ゆったりと秋の一日を過ごすことができました。



ご詠歌の会 ご詠歌の会ができて15年程になるでしょうか。稽古も教本の3分の1程まで進み、お唱え出来る曲が増えてきて、楽しみが増えました。また、楽譜を見ながら正確にお唱えできるよう腕前が上がってきたので、その意味でも楽しみが増えたと思います。右の写真は稽古風景です。道具も手に馴染んで形が整っています。昨年の新年会の懇親会、施食会、対外的にも花祭りや長野県大会などでも発表の場があり、活動の場が広がっています。



昨年の新年会では、参加者の皆さんが気楽に口ずさめる曲や、練習しないとなかなかお唱えできない高度な曲と合わせて発表していただきました。後ろの席で観音講の皆さんと一緒にお唱えいただき来ました。このようにさまざまな機会にお唱えいただくようになりました。「私もやってみたい！」方ぜひお仲間になってください。お願いいたします。

施食会 ・・・・旧全久院の材木が使われ、敷地内に立てられた 旧開智学校校舎が国宝に・・・

恒例の法要を8月5日に行いました。本年は旧開智学校学芸員の遠藤正教さんにより「全久院と開智学校」という題でお話しいただきました。皆さんもご承知のとおり、重要文化財旧開智学校校舎が国宝になりました。その開智学校と全久院の関係をお話しいただいたのです。

松本城最後の城主は「戸田光則候」でした。全久院は戸田家の菩提寺で、戸田家が全国各地に藩主となり領地替えをする度に、その地に全久院を建てました。私の知る限り、鳥羽や高崎にその跡があるようです。

廃仏毀釈についてはまた調べて紙面に載せることとして、今回は開智学校との関係のみお伝えします。戸田様は明治初期に「私の菩提所である松本藩松本町 曹洞宗全久院、埋橋村 曹洞宗

前山寺の両寺を学校に改め」と発表されたと、歴史に残っています。前山寺は全久院の末寺で県の戸田家の御塚の南に隣接し、現在はその長屋門とみられる建物のみ残され廃寺となっています。

当時の地方紙『信飛新聞』第5号に筑摩県開智学校の図があります。当時松本は岐阜県高山とともに「筑摩県」となっていました。そこで地方紙の「信飛新聞」も信濃と飛騨の頭文字を取り名付けられたと思われます。また次号いかに遠藤学芸員にお願いして、その図を誌面に載せたいと思いますが、女鳥羽川の向こうに解体前の赤い旗の立てられた全久院と門や松の木が描かれた絵図が掲載されています。また時期不明ではありますが「全久院改築検討図」があり、「教官詰所」「寄宿寮」「講堂」「玄関」「生徒控室」などと部屋割りされた旧全久院の伽藍図が残されています。もう少し詳細を調べて、以後誌面に掲載しますのでご期待ください。

宗務所長の務め

宗務所長を拝命して1年が経ちました。選挙投票で選任されたのは全国に私一人で、他候補を押しの方が半数近くいることを鑑みて、出来るだけ皆さんの意見を吸収しながら宗務所行政を進めたいとの思いがあり、最初の1年は試行錯誤の繰り返しでした。任期はもう3年、皆様に宗教界が抱える現実を報告できたらと思います。まずは宗務所長の仕事をお伝えします。長野県は東北信の第一宗務所、中南信の第二宗務所に分かれており、私は第二宗務所の担当

1、宗務庁（全国の宗務所行政の統括機関）業務

- ・寺院、僧侶、寺族などの資格その他の申請
- ・僧侶共済、火災や災害など福祉に関する業務
- ・宗費徴収や寺院財産などに関する事務
- ・僧侶分限（資格取得）や僧籍に関する事務
- ・研修会の執行
- ・布教に関する研修や研修会推進
- ・ご詠歌
- ・発行物やリーフレットなどの配布

2、北信越管区（新潟、長野、富山、石川、福井）事業

- ・管区集会
- ・婦人会集会
- ・各種布教講習会や講演会
- ・人権研修会、追悼法要

3、宗務所

- ・上記に関する申請や進達
- ・上記研修会、講習会、講演会の開催
- ・宗務所独自の事業
- ・管内教区や寺院の慶弔法要

など多数の業務があります。右の写真は晋山式に参加して宗務庁発行の住職辞令を読み上げて、手渡しているところです。全久院の檀務と並行しての仕事です。益々忙しくなりますが、副住職と共に頑張りますのでよろしくお願いいたします。



茶道コーナー

G20世界環境大臣会議で茶席

昨年6月14日（金）軽井沢農産物等直売施設「軽井沢発地市庭」イベントスペースにて100人程の世界環境大臣の関係者を集め開催されました。

環境にやさしい水素エネルギーを使って沸かしたお湯で茶を点て、地元の銘菓をふるまい、万葉時代から令和に至るまでに積み重ねられた我が国の伝統文化を紹介するとともに、次なる時代にいかにか持続可能な環境に優しい社会を残していくかを考える契機とする旨を主旨として開催されました。



環境大臣が九州出身で、九州の茶の仲間から紹介されお手伝いする運びとなりました。

東信地区の表千家の幹事様の手伝いをお願いして、環境省からは「令和」の起源の大宰府の協力をいただき、当時の衣装に身を包んだ方、京都の舞子さんも加わり、世界各国の政府関係者に「おもてなし」させていただきました。

欧米やアジアの政府関係者の皆様はお茶の作法を知っている方も多く、「なぜ茶碗を回すのですか？」「抹茶は茶の葉から作られるのですか？」「紅茶と抹茶の葉は同じですか？」「千利休が切腹させられた理由は？」などの質問を受けました。世界の人々の茶道に対する関心の深さに驚かされました。日本は伝統文化の氷河期のようになっていますが、世界の皆様の熱い熱で小売りを溶かしていただけると感じました。それにしても、分単位に刻まれたスケジュールの中、15:30に先発隊が到着、15:50大臣到着し挨拶後、お茶を召し上がっていただき、16:00退出という時間を過ごされました。30分という短い時間をユッタリとした時間に替えられる心を提供できたでしょうか？

りらの会にご協力ください

寺での法要の手伝いをしていただいているグループ「りらの会」の紹介は以前からしていますので、皆様もご存知のことと思います。檀家の皆様からも手伝いの依頼をいただくようになりました。現在は10人ほどで、週一回木曜日の掃除、随時依頼される法要の手伝いをしていただいておりますが、依頼が多くなり人数が足りなくなっています。檀家の皆様にもぜひ会員として登録いただき、お手伝いいただきたいと思っております。お手伝いには、1時間1000円ほどのお礼をいただいておりますが、その内、りらの会に運営費を若干納めていただき、後を手取りとしてお渡しします。是非多くの方に仲間になっていただき、お寺の手伝いをお願いできたらと思っております。「人のお手伝いをさせていただける分、させていただいている自分のほうが心豊かになっているように感じます」と会員の方から言われ本当にうれしく思っています。皆様のご参加ぜひご参加お願いいたします。

大黒コーナー

ベルディ作曲オペラ『椿姫』公演

オペラを楽しむ会 第10回記念公演 ベルディ作曲 オペラ『椿姫』
(イタリア原語上演字幕付き)の公演を5月3日(日)14時~16時、

まつもと市民芸術館主ホールにて行います。豪華絢爛で、甘く情熱的なメロディー満載の純愛悲恋ものということで、古今のオペラの代名詞のようになっている超人気作です。男声優位の武骨なオペラばかりを書き続けたベルディが、ようやく女性への愛に目覚め、恋心の綾を繊細に描き切ったのがこの作品ということです。しかも歴史物語で



はなく同時代の話を取り上げ娼婦をヒロインに据えたことも画期的だったのです。あらずじは、
〔第1幕〕パリのヴィオレッタの家では、夜毎華やかなパーティが開かれている。サロンに集ま
って面々は酒と快楽を讃え、やがてガストーネ子爵によってヴィオレッタ崇拝者として若
者アルフレードが紹介される。二人きりになり、アルフレードの熱烈な告白に、心揺れる
ヴィオレッタ。一同が帰った後もひとり思い乱れる。ヴィオレッタは、今まで快楽の世界
で生きてきたが、真実の愛というものを知らなかったことに、アルフレードの求愛によっ
て気づいたのだ。

〔第2幕〕ヴィオレッタがパリの裏社交界の派手な生活を捨てて3か月、アルフレードはこの郊
外の家で、彼女とひっそり暮らす喜びをかみしめる。しかし、アンニーナから、「ヴィオレッ
タが内緒で私財を処分して生活費を工面している」と聞き、自分の不名誉を恥じて金策の
ために飛び出していく。ある日ヴィオレッタのところへ、アルフレードの父ジェルモンが
訪れ、妹娘の縁談に差し障るので息子と別れてほしいと切り出す。強引なジェルモンの説
得にヴィオレッタは拒否しきれず、泣く泣く身を引くことを承知し、何も言わずに去る。
事情を知らないアルフレードは、ヴィオレッタが裏切ったと思い込み、怒りに震える。

フローラの家パーティに、アルフレードが一人現れ、間もなくヴィオレッタが男爵と
やって来る。男爵との賭けに買ったアルフレードに、立ち去るように請うヴィオレッタ。
アルフレードは逆上し、人々の前で借りを返すと言って彼女に金を投げつける。女性を侮
辱したと人々の非難を浴び、後悔するアルフレード。真実を語れず苦しむヴィオレッタ。
彼に決闘を申し込む男爵。

〔第3幕〕数か月後のパリ。病の床に伏すヴィオレッタは余命いくばくもない。今の彼女の慰
めは、過去の日々の回想と、ジェルモン
からの詫び状を読むこと。ついにアルフ
レードがやってきて愛を確かめ合い、ジ
ェルモンも二人の結婚を認めるが、喜び
も束の間、ヴィオレッタは命尽きる。



是非ご覧下さい。なお今回は 10 回記念公演
ということで、松本短大幼稚園、信州大学医学
部付属病棟で出張コンサートを行います。また
特別講演として

「3, 11 被災地応援コンサート」

3月11日（水）14時～15時15分 全久院にて
料金 カンパの一部を、SVAを通じて復興支援として指定寄付します

こちら是非ご来場ください。

掲示板 （皆様のご参加お待ちしております）

下記の予定は変更される場合もありますので、参加の際は日時を寺に確認の上お越しく下さい

．．． 檀信徒護持会新年総会 ．．．

1月18日（土）4時より全久院で開催します。全久院の催しに参加していただいている方々
など、より多くの方に参加していただきたく企画しています。茶道部の皆さまの協力により、3

時40分より茶室にて薄茶を差し上げます。お正月の新たまった飾りつけの中、日常とは少し違った雰囲気味わい、檀家の皆様にも堅苦しくなくお茶に触れていただこうと思います。4時より護持会総会となり、皆さまから頂戴している護持会費の会計報告など承認いただきます。4時30分より本堂にてお参り、その後座禅会の皆様と5分間座禅、4時50分より懇親会。懇親会ではご詠歌の皆さんと観音講の方によるご詠歌の奉詠を3曲披露します。次に観音講や歌の会「花かんざし」の皆さんにより唱歌を何曲か、みなさんにも歌詞をお配りし合唱していただこうと思います。一年の初めを皆さま心豊かに過ごし、良い年であるよう祈念したいと思います。総代様のお顔を覚えていただいたり、人柄に触れていただき、全久院のことをいろいろ語り合いたく思います。皆様の参加お待ちしております。参加希望の方は1月15日(水)までに電話でご連絡ください。

．．． 座禅会 ．．．

今年度の座禅会の予定は

2月22日(土)・3月14日(土)・4月18日(土)・5月16日(土)・6月20日(土)・7月18日(土)以上が上半期の日程です。毎回夕方4時集合4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。座禅を経験していただきながら、混迷する現代、自分を見失ってしまいそうな日々を、もう一度自分の時間を取り戻して、ものの見方や生き方をゆっくり考えてみるのが是非必要と思います。そんな時間に身をおいてみませんか。

．．． ご詠歌の会 ．．．

2月26日(水)・3月25日(水)・4月8日(水)2時より・5月13日(水)・6月10日(水)・7月8日(水)・9月11日(水)

午前10時半より12時まで、白板 東昌寺住職 飯島恵道師にご指導いただきます。ご詠歌の検定を受けたり、ご詠歌の全国大会や県大会、全久院のお盆法要、新年会、和合会の花祭りなどに参加したりお楽しみもいろいろあります。上記の日に突然来ていただいても結構です。一緒にいかがですか。なお参加費用1回2000円をお願いいたします。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日10時から12時半まで行います。10時から観音様にお勤め、10時30分からご詠歌、11時から大黒の指導で唱歌の合唱、11時30分より大黒手作りの野菜中心の食事という日程です。現在15人ほどの参加者がいます。気寄りが良く60代から80代の方が元気に集まって来ます。気楽な会ですのでぜひご参加ください。

．．． 歌の会「花かんざし」 ．．．

1月15日(水)・1月29日(水)・2月5日(水)・2月19日(水)・3月4日(水)・3月18日(水)・4月1日(水)・4月15日(水)・5月20日(水)・6月3日(水)・6月20日(水)・7月1日(水)・7月15日(水)・7月29日(水) 大黒の指導で、童謡・唱歌・流行歌・名曲を練習します。期日は基本的には毎月の第1、第3水曜日です。発声練習の成果で高い声が出せるようになったと好評です。時間は10時から12時。会費は1回1000円、途中10分ほどのティータイムがあります。ご希望の方は全久院まで連絡ください。上記の日程には変更する場合がありますので、お越しの際にはあらかじめ電話等で確認ください。

．．． ホームページもご覧ください ．．．

<https://zenkyuin.or.jp/>